

実際に車いすを使って 施設を調査してみました

車 いす利用者からのお話を参考に、市内のいろいろな施設を調査してみました。

いとく大館 ショッピングセンター

毎 日常生活していくうえで、食料や生活用品などを購入することとは、非常に大切です。そこで、取材申し込みを大型小売店にしたところ、いとく大館ショッピングセンターから取材協力の返事を快くいただき、実際に車いすを使って買い物してみました。

お店側の障害者への配慮

- ・「お客様に不自由をおかけしない」が方針（健常者も含めて）
- ・買った商品が多い場合は、店員が車まで運んでくれる。
- ・トイレは車いす利用者だけでなく、高齢者、子ども連れ、妊婦の方々も利用できるよう配慮されている。

- ・身体障害者用駐車場が、入り口に最も近いところに2カ所設置されている（北側駐車場）。
- ・車いすで使える、専用カートが備え付けられている。
- ・エレベーターの車いす用のボタンを押すと、ドアが開いている時間が通常より長い。

気になる点

- ・車いすマークがついた身体障害者用の駐車場に一般のお客さんが車を駐車している（店側がいろいろ配慮しても、一般のかたのマナーが悪いとどうしようもない。注意しても「俺も障害者だ」と開き直る、何ら身体障害者に見えない人までいる。）
- ・服売り場の通路幅が狭い。
- ・宝飾品売り場では、宝飾品が車いすからはあまりきれいに見えない。
- ・自動販売機の、上のボタンが押せない。
- ・レストランのレジの位置が高く

狭い。レストランの陳列棚の一番上が見えない。

通

路幅が狭いなど建物の構造上たつての対応は難しいように思いました。しかし、いとく大館ショッピングセンターは、健常者も含めて、お客様に不自由をかけたことという方針で営業されていて、車いすのお客さんには、1階の広いトイレや、車いす用カートなども用意されています。そして、店員のちよつとした心使いで、補っていただきました。実際、車いすで買い物した際の対応は、とても親切でした。

店

側からの説明でも強調していましたが、いくら配慮していても身体障害者用の駐車場に一般の車両を駐車するなど、お客さんの意識・マナーが低いと効果が上がらないということで、ぜひこのレポートでも訴えて欲しいということでした。お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございます。



目の高さの食品売り場



使いやすいトイレ



スムーズないとくの入り口